

# 研修委員オープンキャンパスレポート



筑波大学

『受験生のための  
医学群医学類説明会』

平成 28 年 8 月 6 日(土)

10-16 時

会場：筑波大学医学図書館 3 階臨床講義室



内容：

1) 医学類長挨拶、入試及びカリキュラムについて

筑波大医学類の教育理念を知ることが出来た。今昔の違いや他大学との違いが分かった。グループで課題を討論するテュートリアル方式で基礎医学を深め（1～3年次）、診療チームの一員として実際に患者を受け持ち学ぶ診療参加型臨床実習（4～5年次）がある。また、海外留学も積極的に推奨している。

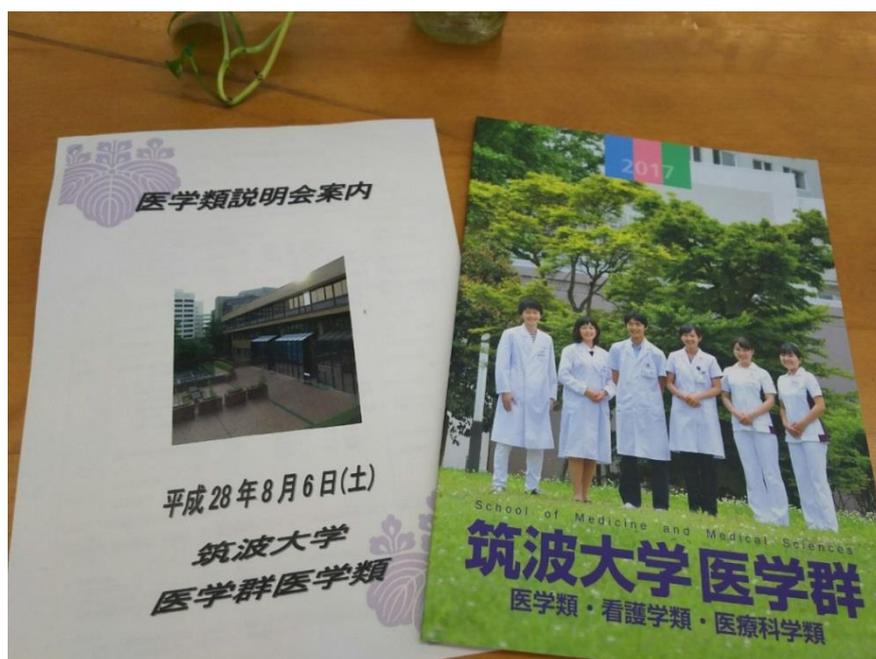
2) 在学生による入試、授業、クラブ活動、生活一般について

1年次から5名、2年次から2名、5年次から1名、合計8名の在学生による発表であった。パワポを用い、ユーモアあふれる内容であった。

- ・大学に友人は不可欠。是非クラブに加入し友人を作ろう。
- ・宿舎は楽しい！安い！毎年5月に開催される宿舎際＝やどかり祭は最高に楽しい！友人がいっぱい出来る。けれど宿舎には虫がいる...
- ・高校の授業をしっかりと聞こう。苦手科目の制覇の仕方は人それぞれ、勉強の仕方も人それぞれ。

3) 大学講師による卒業後の進路について

臨床医学、基礎医学、社会医学の講師3名それぞれのプロフィール、現在の仕事内容の話であった。



【感じたこと】

約2時間30分(!)休憩なし。もちろん途中退室可であったが内容が濃く、興味深いものであったので長く感じなかった。冷房が強すぎたのが辛かったくらいだ。

我が息子は事前にネットで申込み済み。そのネットでは保護者参加の是非はなく、当日入場出来るか不安であったが、親子での参加が大多数だった。両親揃って、あるいは兄弟も共に、一家で参加というスタイルも多かった。ネット申込者は優先的に入場出来た。当日受付もあったが長蛇の列であった。なので事前申込みをお勧めする。説明会は同じ内容で午前と午後の2回実施。午前に参加した。子供と保護者は別にされ、4室に別れ、ビデオライブ型であった。このような説明会は親子一緒が良いと思うの

は私だけであろうか。子供の表情や反応をリアルタイムで感じたいのに。

なお、パンフレット代約¥300は、後日コンビニ振り込みした。

説明会に参加していない時間帯は別棟で大学案内のビデオ上映、過去問閲覧、在学生による相談コーナーがあり、病理標本見学、聴診シミュレーション、救急体験コーナーなんてものもあった。



## 食堂



お昼時は激混みで、私はここでは食せず。終了間際に涼みに来た。息子はカレーを食したとの事。味を聞いたら、「カレーの味がした」と。要するに美味しいとの事。他、ラーメンやうどんがあるよう。¥300~400程度。

広大な敷地



平成27年4月1日改正

平日		
行先	筑波大学中央	筑波大学循環
行先	第二エリア前	一ノ矢学生宿舎前
6	34 54	04 44
7	14 28 28 52	24 54
8	10 18 28 31 33 41 51 51	04 14 34 44 54
9	08 14 16 21 29 44 55 59	14 24 34 54
10	00 14 28 49	04 24 44
11	09 28 49	04 24 44
12	09 28 49	04 24 44
13	09 28 49	04 24 44
14	09 28 49	04 24 44
15	09 28 49	04 24 44
16	14 31 46	04 24 44
17	01 11 24 46	04 24 44
18	04 16 31 51	04 24 44
19	06 41	04 24 44
20	14	04 24 44
21	14	04 24 44
22	14	04 24 44
23		04 44
24		24

※本時刻表は、本学が主催するバスが運行するものであり、本学以外のバスが運行する場合は、本学時刻表とは異なります。  
 ※本時刻表は、本学が主催するバスが運行するものであり、本学以外のバスが運行する場合は、本学時刻表とは異なります。  
 ※本時刻表は、本学が主催するバスが運行するものであり、本学以外のバスが運行する場合は、本学時刻表とは異なります。

なので構内バス発着もこんなにある。

隣接する大学病院



## 【最後に】

今回このオープンキャンパスは息子を乗せ、我が車で往来した。片道 90 分、近くも遠くもある。高学年に近づくほど学科の特徴上、勉学、実習等で時間がなく、自宅からの通学は不可能と、大学側からも在学生からもはっきり言われた。経済的に願わくは自宅通学と思っていたが、負担となってしまうのであれば下宿等も考慮していかねばならないと腹をくくった。圏央道境古河-つくば中央間が開通すれば低学年時代のみ車通学でも良いのかと試してみたり。息子は宿舎を見学してびっくりしていたが、年間約 17 万円と言う安さに「ここにして、半分通うってのは?」。それもいいかも。帰ってくる時唐揚げたくさん作って待ってるよ。

学内施設自由見学の時間もあったが、何せ広くて廻りきれなかった。

写真はないが、息子は医学図書館、中央図書館が気に入ったとの事。この 2 つの図書館は結構離れていたが学友と共に構内バスに乗り、どちらも見学したのだそうだ。中央図書館には、地元の図書館にはないバックナンバーがあったとかで大喜びであった。確かに勉学に勤しむには最高の施設であると感じた。構内外をブラブラしてみたが、緑が多く、猛暑日であったが木陰は風が吹き抜け気持ちいい！私はこの環境に大満足であった。もっともっと見学したかったがこの日は古河市の花火大会もあり、後ろ髪引かれながら帰宅した。また来年来よう。

また、別室では「筑波大学医学群医学類進学者向け茨城県修学資金制度説明会」を実施していた。時間の都合上、参加しなかったが複数の制度がある。

**医学部進学に対する支援～修学資金制度～**  
医学の道に進む学生を修学資金制度で全面的にバックアップします

### 医師修学資金の貸与

■目的：母体、県内の知事が指定する医療機関で医師業務に従事することを遠慮免除条件として修学資金を貸与することで、医師不足地域での医師確保を図る。

■対象者：次の(1)又は(2)のいずれかに該当する者  
(1)茨城県外の大学(大学院を除く)の医学部に在籍する者で、次のいずれかに該当する者  
①茨城県内の高等学校等を卒業した者  
②茨城県内に居住する者の子  
(2)筑波大学医学群医学類に在学する者(県内出身・県外出身は問わない)

■その他の条件：地域医療支援センターが主催する各種セミナーや個別面談などに必ず参加できる者

■貸与額：月額10万円 ■貸与人数：10名程度/年

県内医師不足地域で貸与期間と同期間、医師として勤務した場合は、返還を免除(※貸与期間が3年未満の場合は3年間)

(参考) 医師不足地域

### 地域医療医師修学資金の貸与(地域枠)

■目的：本県地域枠入学者に対し、将来、県内の知事が指定する医療機関等で医師業務に従事することを遠慮免除条件として修学資金を貸与することで、地域医療の充実に必要な医師の養成及び確保を図る。

<茨城県内対象>

■対象者：茨城県地域枠入学者として入学した者で、次のいずれかに該当する者  
(1)茨城県内の高等学校等を卒業した者  
(2)茨城県内に居住する者の子

■その他の条件：地域医療支援センターが主催する各種セミナーや個別面談などに必ず参加できる者

■貸与額：月額15万円

■地域枠定員：7大学43名(平成29年度)  
うち筑波大学28名

知事の定める医療機関で9年間(臨床研修期間を含む)医師として勤務した場合は、返還を免除(9年のうち1/2以上は医師不足地域に勤務)

「医師不足地域」として該当する二次保健医療圏(上段の色塗りの市町村)  
○海戸  
○日立  
○常陸大田・ひたちなか  
○鹿嶋  
○茨城・下妻  
○水戸・鹿嶋

### <全国対象>

■対象者：大学卒業後、知事の指定する医療機関及び診療科で、医師の業務に従事しようとする者であって、筑波大学の出願資格を満たす者

■その他の条件：地域医療支援センターが主催する各種セミナーや個別面談などに必ず参加できる者

■貸与額：月額15万円 ■地域枠定員：筑波大学10名(平成29年度)

知事の定める医療機関及び診療科で9年間(臨床研修期間を含む)医師として勤務した場合は、返還を免除(9年のうち1/2以上は医師不足地域に勤務)

【知事が指定する診療科等】  
前期臨床研修を終了後、次の診療科のいずれかを選択するか又はへき地医療を選択し勤務  
・産婦人科・小児科・救急科・へき地医療  
(へき地医療を選択する者はいわゆる総合診療科又は外科を専攻し、9年間のうち1/2以上の期間は無医地区、準無医地区を含む市町のへき地医療拠点病院及び診療所等に勤務)

IBARAKI Prefectural Government

オープンキャンパス参加は初めての経験であった。他大学の事はまだ分からない。よって、見学のポイントがずれているかもしれないがこれから様々参加し、息子とともに大学受験に対しての知識を増やしていけたらと思っている。